

今月のテーマは『母子感染の予防』です。

最近、お母さんのむし歯菌が子供に感染する『母子感染』が問題になっています。授乳時期～幼児期は特に子供にとって、とても大切な時期です。今回は『母子感染』についてお話します。

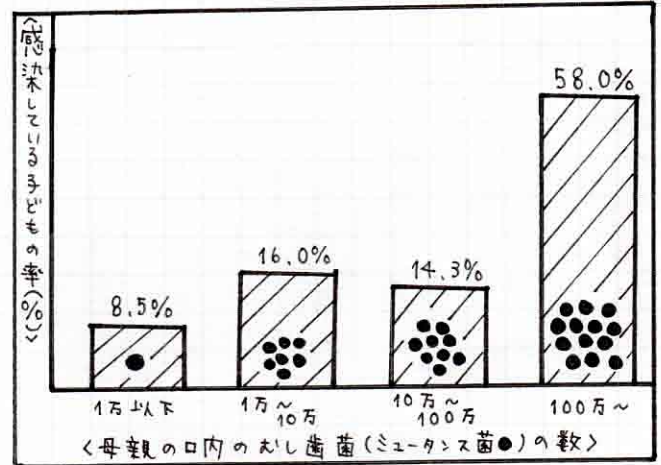
むし歯は母子感染するってホント？

◎生まれたばかりの赤ちゃんは、ほとんど無菌の状態です。2～3歳までに口腔内の細菌の生態系は完成すると言われており、この頃までにミュータスレンサ菌などのむし歯原因菌に感染してしまうと生涯そのコントロールは大変難しいものになります。そして、残念なことにそれらはおもに母親の口腔から伝播すると言われています。お母さんが一度口にいったスプーンや箸などを赤ちゃんの口に入れるだけでも感染してしまうのです。自分の食べているものをかみ砕いて赤ちゃんに与えたりしていませんか？



お母さんのむし歯予防が大切です！

◎右のグラフは、お母さんのお口の中のばい菌の数とその子どもたちのむし歯になる割合を示しています。お母さんのお口の中にばい菌が多い子どももむし歯になる可能性が高くなるのです(T_T)！



どうしたら、感染させずにすむの？

◎残念なことに、現在は、まだ完全なる虫歯のワクチンは開発されていませんので、お母さんや、家族の方のお口の中の虫歯菌の数を減らすことから努力しましょう。

感染源としては「口移しで食事を与える」や「同じスプーンで食事を与える」、「同じ歯みがきを使う」「コップ、ストローからの感染」など、色々ありますがこの全てをやめることは難しいと思います。

なのでまずは、お母さんだけでなく、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん等、お子さんに接するひとりひとりが、自分自身の口腔衛生管理を心掛け、虫歯のない健康なお子さんを育てていきましょうネ。

